

### 三〇一 妙法尼御前御返事

御消息云、めうほうれんぐゑきやう(妙法蓮華經)をよるひる(夜晝)となへまいらせ、す  
でにちかくなりて二聲かうしやう(高聲)にとなへ、乃至いきて候し時よりもなをいろ  
もしろく、かたちもそむせずと云云。

法華經云、如是相乃至本末究竟等云云。大論云、臨終之時色黑者墮地獄等云云。守護

經云、地獄に墮に十五の相・餓鬼に八種の相・畜生に五種の相等云云。天台大師の摩訶

止觀云、身黑色譬地獄陰等云云。夫以ば日蓮幼少の時より佛法を學し候しが念願す

らく、人の壽命は無常也。出る氣は入る氣を待事なし。風の前の露、尙譬にあらず。か  
しこきも、はかなきも、老たるも、若きも定め無き習也。されば先臨終の事を習て後  
に他事を習べしと思て、一代聖教の論師・人師の書釋あらく、かんがへあつめ(勸集)  
て、此を明鏡として、一切の諸人の死する時と竝に臨終の後とに引向てみ候へば、す  
こしもくもりなし。此人は地獄に墮ぬ乃至人天とはみへて候を、世間の人々或は師  
匠父母等の臨終の相をかくして西方淨土往生とのみ申候。悲哉、師匠は惡道に墮て

【系年】弘安元年七月十四日(57) 【眞蹟】7紙斷 池上本門寺・千葉縣福正寺藏 【刊】内 32<sub>10</sub>  
遺 25<sub>8</sub> 縮 1749 【註】健 23<sub>43</sub> 啓 34<sub>15</sub> 拾 7<sub>20</sub> 扶 13<sub>21</sub>

①第1紙10行②池上本門寺藏 ③〔へ〕一④十⑤ ⑥〔乃〕乃⑦ ⑧獄…論師第2紙⑨部分  
缺 ⑩學…人の第2紙1行12字⑪ 千葉縣福正寺藏 ⑫第3紙13行餘⑬ 以下、池上本門  
寺藏 ⑭ぬ=給⑮ ⑯哉十(ハ)⑰